

## 独立行政法人水資源機構中部支社渇水対策本部の設置について

木曾川水系及び豊川水系の流域では、1月からの降水量が例年に比べ少ない状態が続いており、河川流量が減少しています。

このため、独立行政法人水資源機構が管理する木曾川水系の愛知用水水源の牧尾ダム及び豊川水系の豊川用水水源(宇連ダム・大島ダム・地区内調整池)では、河川へ必要な水の補給を続けており、貯水量が減少傾向にあります。

このような状況を受けて、牧尾ダムを管理する愛知用水総合管理所では、4月5日より節水対策を開始するとともに渇水対策本部を設置しました。また、豊川用水水源を管理する豊川用水総合事業部では、明日9時より節水対策を開始し、渇水対策本部を設置することとしております。

今後、まとまった降雨がなければ、河川の流況の改善がされず、更に厳しい状況が予想されるため、中部支社は明日9時をもって渇水対策本部を設置し、今後も降雨、河川の流況等の情報をきめ細かに把握するとともに、関係機関と緊密に連携して、施設の適切な運用、水源情報の提供等に努めてまいります。

限られた水資源を有効に活用するため、節水にご理解とご協力をお願いします。

水資源機構が管理する施設の貯水状況や渇水対策に関する最新情報は、水資源機構ホームページにてご覧いただけます。

<http://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>



平成31年4月11日

みずしげんきこう  
独立行政法人水資源機構 中部支社

発表記者クラブ

中部地方整備局記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 中部支社 総務課長 段

住 所：愛知県名古屋市中区三の丸1-2-1

電 話：052(231)7541(代)

# 木曽川・豊川水系の降雨状況(1-4月合計値)





資料-1

—ここでは、各地点の降雨状況ととりまとめています—

河川の上流にあるダムでは、水道用水、農業用水、工業用水などの水利用や、河川環境の保全に必要な水の補給を行っています。

ここでは、上流にあるダム地点の降水量と、水を利用している代表的な地域の降水量を表示しています。

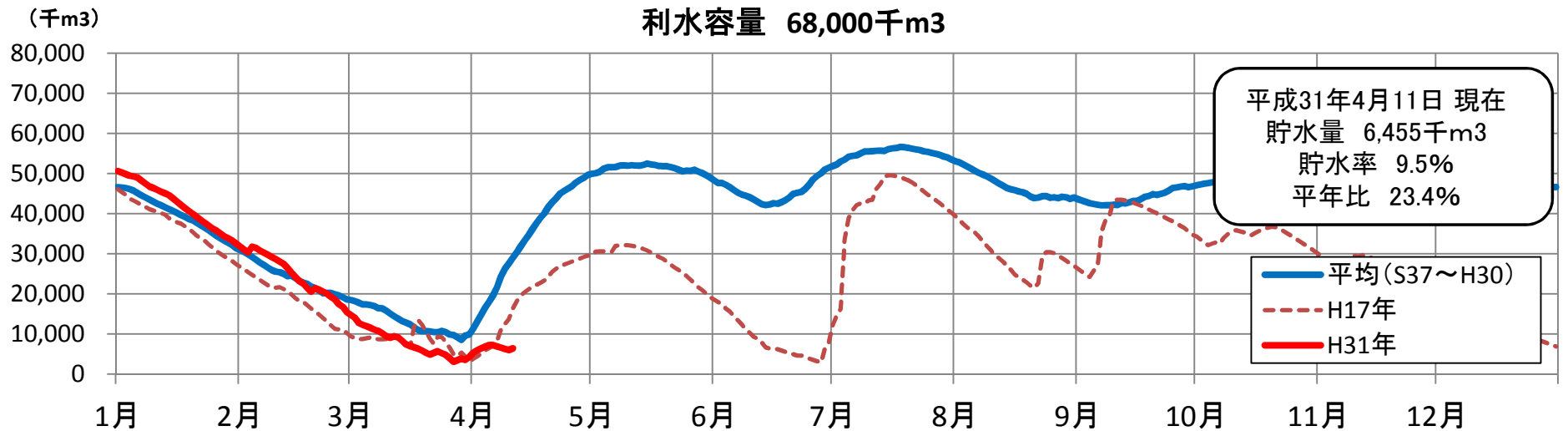
【凡例】

-   : 過去平均雨量
-   : H31年雨量
-  : 水資源機構のダム
-  : 水資源機構の用水路
-  : 気象庁観測地点



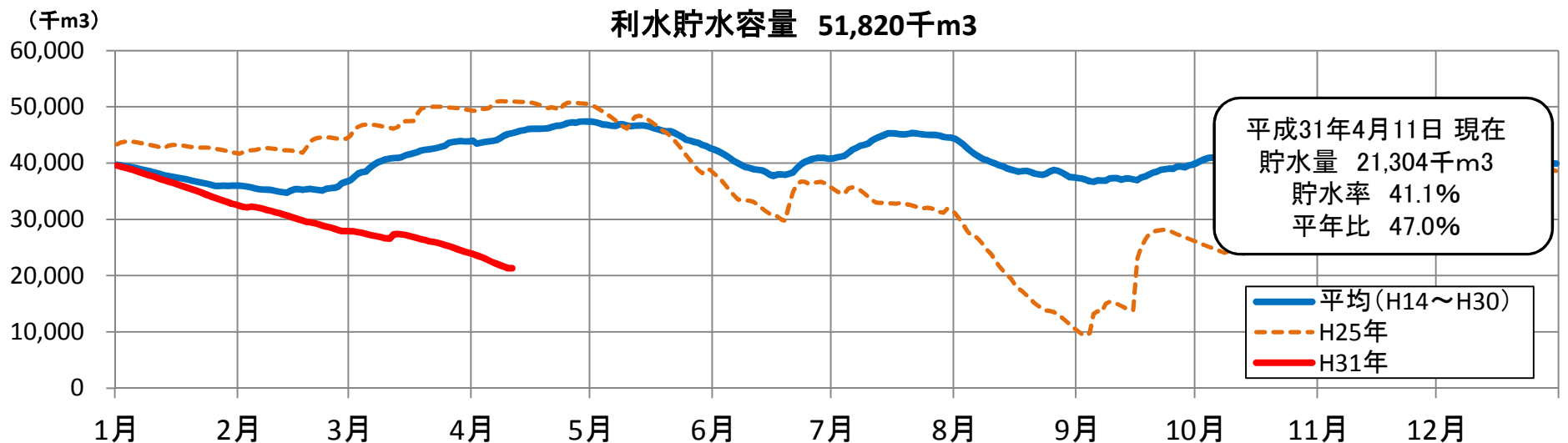
※伽藍の平年値はデータなし  
 ※平成31年の雨量データは平成31年1月1日～4月10日までのデータ  
 ※ダム地点の雨量データは前日までの水資源機構データ(速報値)、過去平均は各ダムの管理開始以降(豊川用水はH14)からH30の平均値  
 ※受益地等の雨量データは前日までの気象庁データを水資源機構で整理したものであり、過去平均はS56～H22の30年間の平均値

## 【牧尾ダム】



近年発生した渇水の中で代表的なH17年を表示。

## 【豊川用水水源(宇連ダム、大島ダム、地区内調整池)】



近年発生した渇水の中で代表的なH25年を表示。

## 【牧尾ダム】



平成30年7月2日撮影  
貯水量: 62,123千m<sup>3</sup>、貯水率: 91.4%



平成31年4月10日撮影  
貯水量: 6,005千m<sup>3</sup>、貯水率: 8.8%

## 【宇連ダム】



平成30年5月18日撮影  
貯水量: 28,018千m<sup>3</sup>、貯水率: 98.6%



平成31年4月11日撮影  
貯水量: 6,479千m<sup>3</sup>、貯水率: 22.8%

※貯水量、貯水率は撮影当日0時時点のデータ